



変わる時代の確かな視点

News Release

2020 年度特別調査 「第2回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」のご案内

株式会社ニッセイ基礎研究所では、新型コロナウイルスの感染拡大によって暮らしが激変する中で、全国の 20～69 歳の男女 2,066 名に対して、GoTo トラベル・イートや新型コロナウイルス接触確認アプリの利用状況、消費行動や働き方、生活不安の状況などに関する調査を実施致しました。

今回の調査で得られた9月末の状況を6月末時点の第1回調査と比較すると、コロナ禍で加速したネットショッピングやキャッシュレス決済などの消費行動のデジタル化は一層進む一方、リアル店舗や電車・バスの利用、外食などの外出型の消費行動も、温度差はありながらも徐々に回復に向かっています。また、働き方ではテレワークが定着しつつ、少しずつ出張や会食などが再開されています。

なお、ニッセイ基礎研究所では、今後の変化を追跡するため継続して調査を実施する予定です。

<調査結果のポイント>

- ✓ 9月末の GoTo トラベルの利用者(予約済み含む)は 15.2%、イートは 1.4%だが、約半数に利用意向あり
- ✓ 新型コロナ接触確認アプリの利用積極層は 36.3%の一方、感染予防への効果が期待できない層が 24.8%
- ✓ ネットショッピングやキャッシュレス決済の利用は6月末より一層増える一方、リアル店舗の利用も回復傾向
- ✓ (他人との接触を避けるための)自動車や自転車の利用は一層増える一方、電車やバスの利用も回復傾向
- ✓ 食事のテイクアウトやデリバリーの利用は一層増える一方、外食も回復傾向
- ✓ テレワークが増えた状況が続く一方、出張や会食なども少しずつ再開
- ✓ 感染不安や経済不安は半数を超えて根強く、感染による偏見や人間関係の悪化への不安は増している
- ✓ 子どもの学力などへの不安は6月と同水準だが、高齢家族の運動機能の低下などへの不安は増している
- ✓ 半年以内の感染拡大収束は約6割が否定的だが、ワクチン開発への見通しはやや明るくなっている
- ✓ 在宅勤務の定着による郊外居住や成果主義への移行、自由時間の増加を3～4割が感じている

調査結果の概要は[こちら](#)から

この件に関するお問い合わせ

ニッセイ基礎研究所「新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」担当 久我・井上

pr_corona@nii-research.co.jp

Tel.03-3512-1800

102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7 | <https://www.nii-research.co.jp/?site=nii>



RESEARCH